

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	令和元年度第 2 回高松市環境審議会
開 催 日 時	令和 2 年 1 月 16 日 (木) 15 時 00 分 ~ 16 時 30 分
開 催 場 所	高松市役所 11 階 114 会議室
議 題	議 題 (1) 会長及び副会長の選任について (2) 令和元年度版高松市環境白書(案)について (3) 高松市環境基本計画及び高松市水環境基本計画の見直し(案)について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出席委員	15 人 三野 靖(会長)、角道 弘文(副会長) 生嶋 暹、石川 恵美子、小松 秀雄、篠原 渉、清水 まり子、 平 篤志、多川 正、谷川 進、佃 三枝子、野崎 千恵、 藤川 利弥、藤本 智子、元木 泰史
欠席委員	1 人
傍 聴 者	0 人 (定員 10 人)
担 当 課 及 び 連 絡 先	環境総務課 (Tel.839-2388)

審議経過及び審議結果

議 題

(1) 会長及び副会長の選任について

会長に三野靖委員が、副会長に角道弘文委員が選出された。

(2) 環境基本計画の中間見直し等について

事務局から、令和元年度版高松市環境白書の概要と、事前に委員の方々から寄せられた意見に対する回答について報告した後、意見交換が行われた。

(委 員)

回答で「修正する」となっている部分について、具体的にどのような記載になるのか。

(事務局)

現在、担当課と協議中である。

(会 長)

修正内容が決まり次第、その部分を委員に周知するようお願いしたい。また、植生の原稿執筆者は、こういった分野の方を当たったのか。

(事務局)

これまで執筆していただいていた先生からの紹介や、香川県の自然保護担当課に問合せを行い検討した。紹介いただいた方からは、時間・費用の関係で断られ執筆に至らなかった。

本来、各分野に関する研究者が県内にいることを前提に、執筆をお願いしていたところであるが、研究者の減少の影響もあり執筆者は現在も見つかっていない。引き続き情報収集しつつ、執筆者の確保に努めていく。

(委員)

ある程度、長期的に変わらない部分は、前年度の原稿のまま使うなど、柔軟に対応できないのか。

(事務局)

行政側で、記載内容が現況を反映できているかどうかの判断は難しい。内容に問題ないか確認できる方を、検討していきたい。

(委員)

数年前も同様に執筆者の方がいないという状況があり、掲載をどうするかという議論があったが、その際には前年度のままであることを記載し、掲載を続けた記憶がある。今回も、同様の対応はできないのか。

(委員)

以前の経験も踏まえ、現在の執筆者に今年だけでも何とか執筆してもらえないかとお願いましたが、今回は難しいという回答をいただいている。

なお、審議会での強い意見もあるということで、再度、執筆者の方に相談したいと考えている。

(委員)

自然環境が大切だと言いながら、行政側の人員の配置や財政的な措置が乏しい。また、博物館なども整備していない。今後の対応を本気で考えていただきたい。

(会長)

環境に関する職員としては、主に「化学」の職員になると思うが、それ以外の自然環境・生物に関する職員の採用はあるのか。

(事務局)

今のところ、自然環境や生物に関する職員の採用はない。

(委員)

香川県の環境白書は廃棄物の関係や再生可能エネルギーなどが主で、自然環境に関する記載まではなかったと思う。ある意味、環境白書の範囲を広げ過ぎた、ゆがみや限界が出てきているのではないか。

(副会長)

地域にいる専門家集団を活用するような方策を打っていただきたい。

(会長)

執筆時期になって、個別に依頼する手法にも限界があるのではないか。日頃から、自然に関する専門家とのコネクションを持つなど、今後のことを含めて検討をお願いしたい。

(3) 高松市環境基本計画及び高松市水環境基本計画の見直し(案)について

事務局から、高松市環境基本計画及び高松市水環境基本計画の見直し(案)について内容を報告した後、意見交換が行われた。

(会長)

パブリックコメントは、どういう形で実施するのか。

(事務局)

審議会での資料をベースに、パブリックコメントを実施する予定である。

(会長)

枝葉の部分の説明しても、2つの計画がどの様に一緒になるのか理解しづらい。パブリックコメントの際には工夫をお願いしたい。

(委員)

SDGsの例示や、指標の変更した目標値の根拠等を計画の中で明示することは可能か。

(事務局)

どうしても限られてしまうが、できる限り加えていきたい。

(副会長)

細かな語句の問題かもしれないが、「水環境に係る災害の備え」を分かりやすく「水災害への備え」に修正してはどうか。

(事務局)

その様に修正します。